

データドリブン経営※に向けた取組

企業概要

株式会社瀬戸内しまなみリーディング

【代表者名】代表取締役 宮本 敬治
 【業種】ロードサービス事業、サービスエリア運営等
 【所在地】愛媛県今治市
 【設立】平成8年11月
 【資本金】5,260万円



■ 支援の内容

データ分析を実施し、中期経営計画策定に向けた具体的な取組の方向性を明確化

検討に先立ち、営業企画部を中心とするプロジェクトチームを立ち上げ、サービスエリア事業や観光事業を中心に現状分析を進めた。また、社長も毎回参加したほか、コンサルティング会社から観光分野における専門家が参加し、他地域の最新事例の共有やノウハウとなる事項の紹介を受けながら議論した。

具体的には、サービスエリア事業について、売上の変動要因となる項目（高速道路の通行量やサービスエリアへの立寄り率、購入額等）を洗い出し、通行量データ等の統計データや購入額データ等、自社で収集できるデータをもとに現状分析を実施した。

そのうえで、項目ごとにインパクトをもたらす具体的な施策を検討し、今後の取組案として整理を行った。

また、観光コンテンツについては、予約台帳等の自社データから、来訪客の属性分析を実施し、現状把握を行ったうえで、今後、さらに観光客を誘致するために、来訪者へのアンケートを実施してはどうかとの提案を受けた。

来訪のきっかけや情報を入手した旅行サイト等について明らかにすることで、プロモーション強化につながる施策を打つことが可能になるなど、今後の新たな取組の方向性が明確になった。

■ 支援に至る経緯

業績回復に向け、データ活用による経営強化を図るため支援を受けることに

しまなみエリアにおいて、高速バス運行や料金所運営のロードサービス事業、サービスエリア運営、観光コンテンツ提供や飲食店事業を展開している。

取引金融機関から、愛媛県事業である「CONNECTえひめ」のスキームによるコンサルティング支援の紹介を受け、コロナ禍による観光需要の減少による業績低迷からの脱却を図るため、自社の観光コンテンツやサービスエリアの売上回復、飲食店等の収益力強化を目標に、中期経営計画の策定のため必要となる、将来のありたい姿の導出や、データを活用した現状分析、市場分析に取り組むこととなった。



最終的に、検討の取りまとめとして、今後実施すべき施策の方向性や施策を実現するために必要となるデータの把握・収集など、データドリブン経営※への変革に必要な事項を明確にし、アクションプラン案として整理した。



■ 支援の効果

データ利活用の可能性を体感し、データドリブン経営の実現に向けた第一歩となる

自社内にあるデータだけでも一定程度の分析が可能となることや、さらに、このようなデータが収集できれば、売上拡大につながる、販促施策が考えられるなど、データを切り口として様々なディスカッションができたことで、データドリブン経営に向けた変革への第一歩となった。また、同時に、データ化されていないデータの整備や、データドリブン経営を推進していくための体制やアクションプラン案を参考に、中期経営計画策定の一助とする良いきっかけとなった。

■ 今後の展開

新コンテンツとともに、しまなみエリア活性化に向けてさらなる事業拡大を図る

支援終了後、まずは、検討内容を活かして中期経営計画を策定していく予定であり、事業拡大に取り組んでいく方針である。また、インバウンド需要が回復傾向にあることから、新たなコンテンツ造成にも取り組んでおり、しまなみエリア活性化のためのリーディングカンパニーとして、さらなる事業推進を図る予定である。



支援を受けた 事業者の声

コロナ禍で売上が減少したため、サービスエリアの売上回復・観光事業の拡大を柱とする経営再建策構築のため、プッシュ型支援を賜ることとなりました。

以降、多岐にわたる当社事業の諸課題を調査・分析・ヒアリング等を通じて十分ご理解いただき、一緒になって現状把握・進む方向・解決策等を考察し、適切な情報やアドバイスをいただきました。

今後、中期経営計画を策定し、スピード感を持って取り組み、引き続き、業績回復と同時に、しまなみエリアの活性化を図りたいと考えています。



代表取締役 宮本 敬治